



# 名勝遊行柳の不適切な剪定は

## 町 断腸の思いで切った

**問** 国の名勝に指定されている遊行柳が、8月31日に隣地境界でばつさり切れ、悲惨な姿になった。不自然な剪定、剪定期の理由は。

**生涯学習課長** 隣接田の購入交渉がまとまらなかったため、隣接田への迷惑回避のため、

**問** そして寿命を延ばすことを目的として伐採を実施した。今後、枝が隣接境界を越えたらどうするのか。

**生涯学習課長** 公有地化を粘り強く進める。

**問** 大切な遊行柳が不自然な形に切られたことは残念だ。遊行柳を優先した対応ができなかったのか。

**町長** 様々な理由があり断腸の思いで切った。今回は、やむを得ない判断であった。

## 両脇の枝を剪定



## 現在の遊行柳



遊行柳の現状

# 自主避難困難者の支援体制は

## 町 体制構築に努める

**問** 支援者選定方法は。

**保健福祉課長** 本人や家族の申し出により選定することになっているが、選定できない方にも自治会、消防団など地域の団体による支援体制の構築に努める。

**問** 要援護者名簿の開示は。

**保健福祉課長** 警察署、町社協に開示している。地域

**問** の団体への開示を検討する。避難支援個別プランの作成は。

**保健福祉課長** 災害時援護希望申込時に作成している。

**問** 災害時要援護者対応マニュアルをいつまでに実行可能な体制にするのか。

**副町長** 自主避難体制について、諸々な問題があると認識している。災害はいつ来るかわからないので、来

**問** 年度中に仕組みをつくりたい。町の他の業務にも不備がないか総点検する考えは。

**副町長** 実行可能なマニュアルに作り直す必要性を認識している。町民の手引きになる運用の仕方を含めて、早期に再点検したい。



自主避難困難者支援の仕組み